

印章彫刻 篆刻印鑑

「印章彫刻」とは、木、竹、石、角、象牙、金属、合成樹脂等を素材として、その一面に文字やシンボルを彫刻し、判子（はんこ）をつくる仕事です。



対象者
小学校
3年生以上

所要時間
120分

材料リスト

●石印材 参加者数分
[15mm×15mm×50mm]

使用工具リスト

●印床
●印刀
●紙箋(印を押す紙)
●印泥(朱肉)
●紙やすり

参加者数分
参加者10名
につき1程度

作業工程の概要



学校側との事前調整事項等

- 印材に字入れするための参加者氏名リストの事前提出
- 実施する場所の確認(教室でも実施可能)
- 机の配置(班単位で配置)
- 新聞紙の用意(参加者1名に1枚程度)

安全作業上の注意事項

- 印刀を持ち歩かないように注意を促します。

指導者からのアドバイスなど

- 児童の表情(反応)をよく見て指導します。
- 児童に分かり易い言葉で説明します。
- ものづくりの魅力発信には「楽しさ」が重要なので、楽しく体験できるように工夫します。
- 安全面には充分配慮し、不安全な行動を確認したら、その場で注意します。

協力

- 山梨県技能振興コーナー(055-243-4916)
- 川崎 昌宏(ものづくりマイスター：印章彫刻)
- 甲府市立相川小学校
- 山梨県印章彫刻技能士会

体験した児童・生徒の感想

- 習字の授業で、今回製作した印鑑を押すと、見栄えが素晴らしかったです。
- 世界に1つしかないハンコを、自分で作れて楽しかったです。
- 最初は自分にできるか不安でしたが、完成して紙にハンコを押したときは嬉しかったです。
- 大人になったら、ものをつくる仕事をやりたいと思いました。



担当教員の感想・要望など

- 地元の伝統工芸でもある印章づくりを、児童達に体験させ、ものづくりの楽しさを体験したり、郷土を理解する機会にしたかったです。
- 社会科で、郷土の伝統工芸である印章について勉強をしました。
- 児童達がこんなに集中して取り組む姿を見て、普段の授業とは違う魅力を感じました。

